

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52301	保育内容総論 The childcare contents general remarks	山崎典子	○	専門	2	必修	1年後期

科目の概要

幼稚園、保育所における、保育の基本や「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に示された保育内容を総合的に学ぶ。また、保育を実践していくための手がかりの思想と歴史的変遷について理解し、保育の多様な展開について具体的に学ぶことで、保育を総合的に理解する。
★保育園園長としての10年の経験を生かし、保育園での活動の内容や求められる資質の実際を知らせる。

学修内容	到達目標
① 保育の基本と保育内容 ② 保育内容の歴史的変遷 ③ 保育内容と子ども理解 ④ 保育の基本を踏まえた保育内容の展開 ⑤ 保育の多様な展開	① 保育所保育指針における「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解するとともに、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 ② 保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解する。 ③ 子どもや子ども集団の発達の特性や発達過程を踏まえ、観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかわりについて学ぶ。 ④ 子どもの生活全体を通して、養護（生命の保持、情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。 ⑤ 保育の多様な展開について具体的に学ぶ。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業以外の時間を使い、課題について調べたことをノートに整理することができる
	働きかけ力	
	実行力	与えられた課題を期限までに仕上げることができる
考え抜く力	課題発見力	保育に関する様々な知識を新聞やニュースなどでも習得する
	計画力	
	創造力	広い分野から情報を収集し、保育の多様な展開について調べる
チームで働く力	発信力	質問に対して、自分の意見をわかりやすく伝えることができる
	傾聴力	「あいづち」「うなづき」を入れて、話を聴くことができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	グループワークや課題提出日などにルールを守ることができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

- ・参考書：幼稚園教育要領解説書 保育所保育指針解説書 幼保連携型認定こども園教育保育要領解説書
- ・テキスト：実践を創造する 保育内容総論 (株)みらい

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：保育原理、保育内容表現・言葉・人間関係・健康・環境
 関連する資格：保育士・幼稚園教諭二種

学修上の助言	受講生とのルール
・基本的には講義形式で進める。事前学習を行い、積極的に講義に参加することを期待する。 ・幼児期の生活を思い出したり、家族に話を聞いたりすることで、自分の成長を振り返る。 ・丁寧に講義ノートを作るように心がける。	・授業中の私語は慎み、授業中に寝ていて、授業に参加していないと判断した場合は欠席とする。 ・予習をして授業に臨む。 ・遅刻（遅刻3回を欠席1回）や欠席はしないように心がける。 ・携帯電話は必要なとき以外には鞆の中に入れておく。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	・到達目標の①②③④⑤に対応して、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
レポート			0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		20	①	✓	・多様な保育ニーズについてグループでテーマを決め、テーマに沿った内容を調べ、発表をする。 ・特に、チームで働く力が発揮できているかを評価する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：積極的に授業に取り組むことができる 実行力：保育者の役割を真剣に考えることができる 課題発見力：問いかけに対して取り組みながら、様々な視点から保育をとらえることができる。 創造力：保育の多様な展開について調べ、発表することができる 発信力：意見を述べたり、発表したりできる。 傾聴力：話を聴いたり、メモを取ったり学ぶ姿勢ができています。 規律性：グループワークや課題提出日など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>達成目標①から⑤について、テキスト以外の文献等も使い、課題について主体的に取り組むことができる。さらに、筆記試験において、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じ、グループワークでは、チームで働く力が大いに発揮できている。また、授業内での発言等において、発信力を意識した発言を心がけている。</p>	<p>達成目標①から⑤について、テキスト以外の文献等も使い、課題について主体的に取り組むことができる。さらに、筆記試験において、保育の基本概念や語句の理解、自身の見解を論理的な文章で論じ、グループワークでは、チームで働く力が発揮できている。また、授業内での発言も積極的である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・保育者の役割を概観し、保育の基本や内容を学ぶ。	講義	どんな保育者を目指しているのか発表することができる。	(予習) (復習) 昔と今を比較して、乳幼児がどのような環境の中で育っているのか自分の意見をまとめる。	120	主体性 創造力 傾聴力
2	第1章 子どもを取り巻く環境の変化とこれからの保育内容 ・環境と子どもの発達との関係について学ぶ。	講義 実習での質問に対してフィードバックする	子どもの発達を見据えどのような点を考慮して保育をしていくべきなのか考えることができる。	(予習) 教科書第1章を読んで授業に臨む。 (復習) 保育実習を振り返り、記憶に残っている事例をまとめる。	120	主体性 創造力 傾聴力
3	第2章 保育所・幼稚園・認定こども園の役割 ・それぞれの役割について理解する。	講義 指針についての小テスト	保育所や保育者の役割について、記述することができる。	(予習) 教科書第2章を読んで授業に臨む。 (復習) 保育所保育指針を確認する。	120	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
4	第3章 保育所・幼稚園・認定こども園の保育内容 ・それぞれの保育内容について理解する。	講義 グループ討議	それぞれの保育内容について述べるができる。	(予習) 教科書第3章を読んで授業に臨む。 (復習) 内容についてプリントにまとめる。	120	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
5	第4章 保育内容を展開するプロセス ・全体的な計画について学び その他の保育の計画について学ぶ。	講義 グループ討議	大小様々な種類の計画について知り、実際に書いてみる。	(予習) 教科書第1章を読んで授業に臨む。 (復習) 様々な種類の計画について実際に書いたものの考察をする。	120	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
6	第5章 乳児(1歳未満)の保育内容 ・1歳未満児の保育の内容のポイントについて学修する。	講義 グループ討議 1歳未満児についての質問とフィードバック	養護と教育が一体的な展開について具体的に考えることができる。	(予習) 教科書第4章を読んで授業に臨む。 (復習) 保育実習を振り返り、特に1歳児未満児保育で記憶に残っている事例をまとめる。	120	課題発見力
7	第6章 1・2歳児の保育内容 ・1・2歳児における保育の内容のポイントについて学修する。	講義 グループ討議 1・2歳児についての質問とフィードバック	保育所保育指針を参考にしながら、遊びのなかで経験する内容について考えることができる	(予習) 教科書第6章を読んで授業に臨む。 (復習) テキストを参考にし、指導案を考え、作成し講義ノートにまとめる。	120	主体性 傾聴力
8	第7章 3・4・5歳児の保育内容 ・3・4・5歳児における保育の内容のポイントについて学修する。	講義 グループ討議 3・4・5歳児についての質問とフィードバック	テキストを参考にし、指導案を作成する。	(予習) 教科書第7章を読んで授業に臨む。 (復習) それぞれの年齢における事例と指導案を作成し、講義ノートにまとめる。	120	創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第8章 就学前教育と初等教育を接続する保育内容 ・就学前教育と初等教育の接続の意義を考える。	講義 グループ討議 指導案のフィードバック	連携の必要性を理解することができる。	(予習) 教科書第8章を読んで授業に臨む。 (復習) それぞれの年齢における事例と指導案を作成する。	120	課題発見力 創造力
10	第9章 異年齢児の保育内容 ・異年齢保育の意義や保育内容のポイントを学修する。保育の事例と考察について学修する。	講義 グループ討議 異年齢保育についての質問のフィードバック	異年齢保育、統合保育について関わりなどを学ぶ。	(予習) 教科書第9章を読んで授業に臨む。 (復習) 異年齢の保育の様々な事例をまとめる。	120	主体性 課題発見力 傾聴力
11	第10章 子育て支援を創造する保育内容 ・なぜ子育て支援が必要になったのかを考える。	講義 グループ討議 自己決定について考える	グループに分かれ、自分の考えとグループメンバーの考えを交換し、話し合うことができる。	(予習) 教科書第10章を読んで授業に臨む。 (復習) テキストを読み、自分の考えをまとめる。	120	主体性 発信力 傾聴力
12	第11章 地域に開かれた保育所・幼稚園等を創造する保育内容 ・乳幼児にとって、地域社会がどのような意味をもっているかについて考える。	講義 グループ討議	グループに分かれ、自分の考えとグループメンバーの考えを交換し、話し合うことができる。	(予習) 教科書第11章を読んで授業に臨む。 (復習) 幼稚園や保育所の制度や行政の動きについて調べまとめる。	120	主体性 実行力 発信力
13	第12章 わが国における保育内容の変換 ・戦前、戦後の保育に学ぶ。	講義 まとめ調べについてのフィードバック	わが国の保育内容の歴史的流れを知り、どのように変化してきたのかを理解することができる。	(予習) 教科書第12章を読んで授業に臨む。 (復習) 日本の保育、世界で行われている保育について調べまとめる。	120	主体性 実行力 発信力
14	第13章 諸外国の保育所・幼稚園の保育内容 ・世界の保育の動向について興味をもつ。	講義 グループ討議	世界の保育を知ること、日本の保育の特徴は何かと考えることができる。	(予習) 教科書第13章を読んで授業に臨む。 (復習) グループ発表にむけて討議をする。決まった方法や役割を講義ノートにまとめる。	120	課題発見力 規律性
15	第14章 これからの保育内容の課題 ・多様な保育ニーズについて理解し、自分たちができることを考える。	講義 グループ討議の発表 発表の講評	多様な保育ニーズについてグループでテーマを決め、テーマに沿った内容を調べ、発表をする。	(予習) 教科書第14章を読んで授業に臨む。 (復習) 各グループの内容を要約して講義ノートにまとめる。	120	発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力